

令和 2 年 6 月 5 日

朝霞第二中学校 保護者 様

朝霞市立朝霞第二中学校
校長 二見 隆久

1 学期の評価・評定（成績）について

6月1日、梅雨の先駆けとなる雨の中、入学式も無事に挙行でき、令和2年度が2ヶ月遅れでスタートしました。久しぶりに学校に生徒たちの明るい声が戻ってきました。しばらくは、感染防止のための制限がある中ですが、生徒たちにも協力してもらいながら乗り越えていきたいと思えます。ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。

さて、学校は再開しましたが、分散登校もあり7月31日の1学期終了までの期間が短く各教科の1学期の「評価・評定」を例年通りに出すことには、大きな課題があります。各教科の成績は、日頃の授業での取組や小テストの結果、発言や提出物などの平常点と中間・期末テストなどの定期考査の結果などを総合的に判断して、3段階の観点別評価（ABC）をつけ、それを基に5段階の評定（5 4 3 2 1）を算出しています。しかしながら7月までの期間では、評価をする材料が少なく、公正公平な評価をつけるのが難しい状況です。生徒にとっても正規の時間割授業がスタートして数週間で期末テストを受けて、日頃の授業での努力を評価される機会が少ないまま、成績が決まってしまうのは、気の毒だと思います。

そこで、朝霞第二中学校では、7月末までと夏休み明けの8月を授業に集中する期間として1学期の期末試験を9月1日と2日に実施します。その結果と平常点を基に、変則的ではありますが、1学期の成績を決定し、9月18日に「通知表」としてお渡しします。これにより、定期考査以外の評価材料を増やすとともに、夏休み前に出題範囲を示すことで生徒もじっくりとテスト対策もできると思えます。

なお、3年生の中には、夏季休業中に私立高校の説明会等に参加する生徒もいると思えます。本来は入試にかかる相談は、10月以降が解禁という取り決めとなっていますが、昨年度まで一部の学校で、1学期の成績を参考資料として提出するように求められるケースもあったようです。しかし市教委を通じて問い合わせたところ、私立高校側もコロナウイルス対応の関係で、全国各地の学校で2学期制に変更したり、本校と同様の措置をとっていたりすることは理解しており、柔軟な対応を取ると回答をいただいております。万が一無理に請求されるなどの事態があった場合には、学校対学校で対応させていただきます。

子どもたちが不利になることの無いように万全を期して、評価・評定をしまいたしますのでご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。